

陳情第 6 号

原発の再稼働・輸出に反対する意見書を国へ提出することを求める陳情

1 受理年月日 平成26年4月23日

2 陳 情 者 日野市新町1-24-8-401

新日本婦人の会立川支部

代表 香田 玲子

3 陳情の要旨

福島原発事故は、「原発」がある限り子供たちの未来は不安に満ちたものであることを教えてくださいました。取り返しのつかないことを引き起こしてしまいました。今、私たちにできることは、二度と同じことを繰り返さないために、あらゆる努力をすることしかありません。

原発が停止しただけでは安全ではありません。停止した原発をできるだけ早く、安全に廃炉に持つていくための技術の開発、研究の促進をしなければいけません。すべての原発を停止している現在の状態を維持しながら、廃炉に向けての一步一步を着実に進めることが、私たち大人に課せられた務めではないでしょうか。

私たちは原発の再稼働に反対します。既にある原発はなくすことができませんが、せめて動かさないことで、予期できない天災や人材のリスクを少しでも減らしたいのです。

今年の夏の電力が不足することが再稼働の一番の理由に挙げられていますが、国民こぞって電力の消費を減らす努力をこれまでもしてきましたし、今後でもできると考えます。

よって、私たちの大切な子どもたちのために、立川市議会から、国に対して原発の再稼働・輸出に反対する意見書を提出していただくことを陳情します。